

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 10 月 14 日 (2021.10.14)

【公表番号】特表 2020-535166 (P2020-535166A)

【公表日】令和 2 年 12 月 3 日 (2020.12.3)

【年通号数】公開・登録公報 2020-049

【出願番号】特願 2020-517486 (P2020-517486)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/21 (2006.01)

A 6 1 K 8/362 (2006.01)

A 6 1 K 8/81 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/21

A 6 1 K 8/362

A 6 1 K 8/81

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 9 月 2 日 (2021.9.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

水性口腔ケアフッ化物処置組成物であって、

0.1 重量% ~ 3.0 重量% の、カルボン酸側基を有する架橋ポリ酸と、
薬学的に許容される緩衝剤と、

1.0 重量% ~ 2.5 重量% のフッ化ナトリウムと、

0.025 重量% ~ 1.75 重量% の多価カチオン塩と、

少なくとも 60 重量% の水と

を含み、ここで、重量% は前記水性組成物の総重量に基づくものである、処置組成物。

【請求項 2】

前記架橋ポリ酸が、0.5 重量% ~ 1.5 重量% の量で存在する、請求項 1 に記載の処置組成物。

【請求項 3】

前記架橋ポリ酸が、1 つ以上のカルボン酸基を有する 1 種以上のモノマーのホモポリマー又はコポリマーを含む、請求項 1 又は 2 に記載の処置組成物。

【請求項 4】

前記架橋ポリ酸が、アクリル酸、マレイン酸、無水マレイン酸、イタコン酸、ビニルエーテル、アルキルアクリレート、糖、及びこれらの組み合わせのホモポリマー又はコポリマーを含む、請求項 3 に記載の処置組成物。

【請求項 5】

前記架橋ポリ酸が、アクリル酸、マレイン酸、イタコン酸、(C10 ~ C30) アルキルアクリレート、及びこれらの組み合わせのホモポリマー又はコポリマーを含む、請求項 4 に記載の処置組成物。

【請求項 6】

前記多価カチオン塩が、+2 多価カチオン、+3 多価カチオン、又はこれらの組み合わせを含む、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の処置組成物。

【請求項 7】

前記多価カチオン塩が、+3 多価カチオンを含む、請求項 6 に記載の処置組成物。

【請求項 8】

前記多価カチオン塩が、Ca、Mg、Ba、Mn、Fe、Zn、Al、Cu、及びこれらの組み合わせから選択される多価カチオンを含む、請求項 1～7 のいずれか一項に記載の処置組成物。

【請求項 9】

前記多価カチオン塩が、Ca、Zn、Al、及びこれらの組み合わせから選択される多価カチオンを含む、請求項 8 に記載の処置組成物。

【請求項 10】

前記多価カチオン塩が、Al 及び Ca を含む、請求項 9 に記載の処置組成物。

【請求項 11】

前記多価カチオン塩が、0.05 重量%～1.5 重量%の総量で存在する、請求項 1～10 のいずれか一項に記載の処置組成物。

【請求項 12】

増粘剤を更に含み、前記増粘剤が 2.5 重量%未満の量で存在する、請求項 1～11 のいずれか一項に記載の処置組成物。

【請求項 13】

フッ化物を患者の歯表面に付与する方法であって、請求項 1～12 のいずれか一項に記載の水性口腔ケアフッ化物処置組成物を前記患者の歯表面に適用することを含む、方法。

【請求項 14】

適用することが、前記処置組成物を前記患者の歯表面上に塗ることを含む、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 15】

適用することが、前記処置組成物を歯科用トレイ中に分配することと、その中に前記処置組成物を有する前記トレイを前記患者の歯表面に取り付けることとを含む、請求項 13 に記載の方法。